

四国選挙区宗議会議員 選挙公報		四国選挙区 選挙管理会	
1. 選挙発令の告示 四国選管告示第2号 2021年8月21日 四国選挙区選挙管理会 このたび、宗議会議員選挙条例第36条により下記のとおり発令されたので告示する。 記 1 選挙の期日 2021年9月13日 2 選挙人名簿の縦覧期間 2021年8月23日から8月26日まで 3 異議の申立期間 2021年8月23日から8月26日まで 4 立候補の届出期間 2021年8月30日から9月1日まで 5 選挙運動の期間 立候補届出の日（受理後）から 9月9日まで		3. 候補者の告示 四国選管告示第3号 2021年8月30日 四国選挙区選挙管理会 来る9月13日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第39条第1項により告示する。 記 1 候補者の氏名 浜口和也 2 所属する寺院の名称 誓願寺 3 所在地 高知県土佐清水市竜串8番7号 以上	
内達第6号 真宗大谷派宗憲第24条及び宗議会議員選挙条例第30条により、 2021年9月13日に宗議会議員の総選挙を施行する。 2021年8月20日 宗務総長 但馬 弘 以上		4. 無投票の告示 四国選管告示第4号 2021年9月2日 四国選挙区選挙管理会 来る9月13日施行の宗議会議員選挙は、宗議会議員選挙条例第88条により投票を行わない。 以上	
2. 選出すべき議員の定数 1名		1. 候補者の氏名 はまぐちかずや 浜口和也 2. 候補者の所属の寺院・教会の名称及び所在地 土佐組 誓願寺 高知県土佐清水市竜串8番7号 3. 被選挙資格の区分 住職（宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号） 4. 候補者の経歴 2003年 大谷大学文学部真宗学科卒業 同朋会館嘱託補導、修練道場指導補 教化伝道研修 第一期修了生 教区研修生2期、教区教化委員会研修部靖国問題班 班長3期、教区教化委員会研修部幹事1期、 現在教区教化委員会委員（靖国問題班） 5. 立候補の趣意 私は、2011年より同朋会館嘱託補導、2015年より修練道場指導補として宗門に携わってきました。全国の御門徒方・諸先輩方より「これからの宗門について、あなたはどうか考えているか」と尋ねられることが幾度もありました。それを自身の課題として持ち続ける中で、「これまでと同じ体制では全てが急速に衰え、宗門存立の意義そのものが見失われてしまうのではないか」と危機感を抱きました。 その一番は、「人が尊重されていない」具体的事案が度重なり、社会的組織のみならず、宗門が根幹から揺らぐ様を実感したことです。	
		今、組織として力を注がねばならないことは何なのか、そして、宗門としてその存立の意義を今一度明確にするには何をすべきなのかを具体的に提言するべく、この度宗議会議員に立候補します。 1つには、 宗門組織に携わるものの労働環境・待遇を抜本的に見直し、あわせて諸研修を充実させ人の育成を強化すること。 2つには、 大谷派教師資格取得過程の各教育機関のカリキュラムの充実（教師修練のカリキュラムや運営を含む）。 3つには、 在野単位で開かれている聞法会（オンライン含む）への助成と開講の支援。 これらを進めるには当然財源が必要であり、宗門の最重要課題である財政問題と直結します。しかしながら今、時代に応じた形で僧俗ともに出会い学び合う場と、それを担う人を育成し、そして宗門の外へとその存立の意義を訴えていかなければ、組織運営はもとより本願念仏の教えそのものが次世代につながらなくなる危機がおとずれます。 日本はこれから多死社会を迎え、2053年には1億人を割り込むと予想されています。現場ではコロナ禍によってすでに法務が激減したところもあり、今後この流れが加速していく不安と、宗門の運営自体がさらに厳しくなる一方で、本願念仏の教えが求められる機縁が確実にあるのも明白です。また、日本だけでなく、世界に向けた発信も必要でしょう。そのための基盤づくりに取り組んでまいります。 皆様の御賛同と御協力を賜りますよう宜しくお願いします。 以上	